



5年生「金銭教育」

小学生の時期の子供たちは、お金を使って買い物をしたりサービスを受けたりした経験をしているものの、お金のもっている意味やお金の得方などについては必ずしも十分に理解していません。消費者教育は、お金や金融の様々な働きを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分はどうすべきかを主体的に考え行動できる態度を養っていく必要があります。



昨日29日(木)は、熊本県消費者センターから講師を招き、5年生が家庭科の時間の中でお金との上手な付き合い方について学びました。今回は、特に「ネットショッピング」について、実際のトラブル事例を見せていただきながら、ネットショッピングの上手な活用の仕方、ネットトラブルにならないための方法、決済する際に気を付けることなど、多くの学びを得ることができました。小学生の時期は成長や発達が著しく、発達課題に即した指導が重要になってくると思いました。

●ひこうきぐも✈ vol.9

ニューヨークからワシントンD.Cを訪れたあとは、カナダへと向かいました。カナダでの最大の目的は、ナイアガラの滝を見ることでした。アメリカのバッファローという都市から、バスに乗り、国境の手前で降りました。地図を片手にナイアガラの滝へと向かいました。滝はまだ見えていませんでしたが、確実に滝に近づいているのが分かりました。なぜならゴーツ、ゴーツという音の響きを体で感じ取ることができたからです。響きが次第に大きくなるに連れて、私の歩みも速くなってきました。国境を歩いて通過し、いよいよカナダへ入国しました。気持ちが昂ぶって、なぜか「ラブレターフロム、カナダ〜♪」とロずさんでいました。



国境に架かる橋は、レインボーブリッジという名の橋です。橋の上からは、ナイアガラの滝を一望でき、はるか上空へと立ち昇る白いしぶきの中に虹が見えます。とても神秘的なその光景に思わず溜め息が漏れました。なるほど、世界中から多くの観光客が集まるわけです。

ナイアガラの滝、と聞けばテレビなどでおなじみの、馬の蹄鉄のような形の滝を連想することでしょう。これは勿論正解なのですが、正確に言うと、実はナイアガラの滝は2つあるのです。1つはアメリカ側にある滝で、アメリカ滝と言います。このアメリカ滝は平面な滝で、落差58m、幅325mです。そしてもう1つが、おなじみの蹄鉄のような形のカナダ側にある、カナダ滝です。このカナダ滝は落差56m、幅675mもあるのです。

カナダ滝を間近に見ることができ、一人感動に浸っていると、日本人の観光団体に出会いました。関西の観光客の人たちで、しばらく話をしていたら、「兄ちゃん、黙って取っとき。」とお金を差し出されるのです。それって私の旅の格好があまりにもひどかったせい？

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。